

これから麻薬取締官を志すみなさまへ

●はじめに

我が国の薬物乱用は、海外の薬物情勢や社会環境など時代の変化に即応しながら、日々刻々と変化しており、今や、国民一人一人が薬物の乱用問題を身近に迫る問題として認識しなければならない時代となりました。

国として法規制を強化し現状の薬物問題に対峙していくことは当然のことですが、同時に薬物の乱用によって生じる国民の健康被害、社会全体への悪影響などを様々な視点から検証・分析してその要因を追求し、効果的かつ総合的な薬物政策を実行していくこと、それによって、薬物乱用のない国民の安心・安全な生活を維持・向上させていくことが麻薬取締官に課せられた使命でもあります。

麻薬取締部は、個々の職員がその重責を担い、この大きな目標達成に向けて日々努力し、これからも、時代の変化に対応し、国民のニーズや付託に応えられる組織を目指していきます。

どんな苦境にも屈することなく信念を共有し、常に前を向いて進もうとする強い気持ちを持った若い皆さんの力が、将来の麻薬取締部の原動力になっていくことを期待しています。

●なぜ今、麻薬取締官なのか！～薬物犯罪は、あなたのすぐ身近に迫っている～

麻薬などの習慣性の高い薬物の中には、医療現場に不可欠なものもあります。しかし、誤った使い方をすれば、個人の健康を害するのみならず、他の犯罪を誘発するなど社会にとって損失につながります。医療現場で使われる正規の流通麻薬などを監視すること、不正な麻薬等の供給ルートを遮断し、乱用を防止することが麻薬取締官の仕事です。

薬物犯罪、薬物関連の事件をネット、テレビや新聞で目にしない日はありません。

薬物犯罪は、皆さんが想像しているより、我々の身近に迫っているのです。

国民を薬物乱用から守ること、これが私たちの重要な任務の一つです。

我が国で乱用される薬物



覚醒剤



コカイン



ヘロイン



大麻



危険ドラッグ

●麻薬取締活動の一端



●全国麻薬取締部所在地



全国に、8麻薬取締部・3分室・1支所（それぞれの連絡先は[こちら](#)へ）

●麻薬取締官になるには

☆☆求める人材☆☆

●薬物犯罪を見過ごさない、正義感をもった人材

→平和な社会を維持するために、薬物犯罪に対して正義感をもって仕事を行える人が必要です。

●困難に負けない、粘り強さをもった人材

→捜索、取り調べや長時間の張り込みなど、粘り強い忍耐力を必要とする業務が多くあります。

●法の執行者としての高い倫理観を兼ね備えた人材

→麻薬取締官として業務を遂行するためには、平素から高い倫理感を保持する必要があります。

●チームワークを重要視する、協調性をもった人材

→業務は1人でなくチームで行うことが多く、また人と接する仕事ですので、協調性やコミュニケーション能力が必要です。

